

# 大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.33)

## ◎ PCB廃棄物の処理状況について (操業開始～平成25年3月31日)

| 対象物    | ※処理実績 (登録台数比) 廃棄物個体完了ベース |               |
|--------|--------------------------|---------------|
|        | 近畿2府4県                   | 大阪市           |
| トランス類  | 1,915台 (59%)             | 983台 (75%)    |
| コンデンサ類 | 38,258台 (57%)            | 10,810台 (87%) |
| PCB油類  | 786本 (49%)               | 376本 (77%)    |

※大型のPCB廃棄物は分割前の台数、また、登録台数は平成25年3月31日現在の台数で集計しています。

## ◎ PCB廃棄物処理事業検討委員会及び大阪事業部会の開催について



大阪事業部会の様子

2月21日、ホテルグランヴィア大阪で第20回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査：酒井伸一 京都大学環境科学センター長）を開催しました。

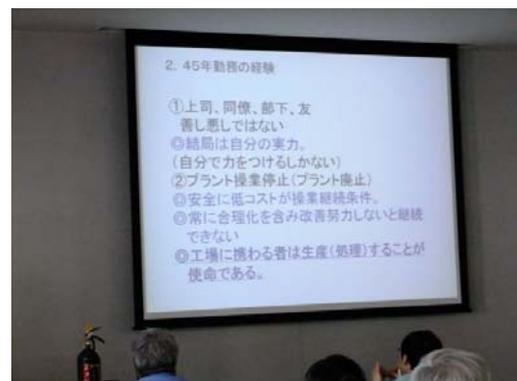
今回は、「大阪PCB廃棄物の操業状況」、「大型トランス処理推進計画」、「内部技術評価」等について報告いたしました。各委員から作業環境改善対策や作業員の健康管理、今後の処理を踏まえた

施設改善計画について専門的な意見をいただきました。これらのご意見を踏まえて課題に取り組み、安全・確実な処理事業を進めてまいります。

また、3月29日、ホテルアジュール竹芝（東京）でPCB廃棄物処理事業検討委員会（JESCO主催、委員長永田勝也 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授）を開催しました。JESCO5事業所の処理状況等について報告しました。

## ◎ 安全教育の実施について

2月の安全教育はリスクアセスメント（安全な職場作り）について行い、「事故が起こっていない状態が安全ではないこと、危険な状態が見過ごされないように、改善への地道な取組が安全に結びつくこと」を学びました。3月の安全教育では、先輩社員から過去の失敗談を含めた仕事への取組についての体験や専門知識・訓練の重要性などを学びました。



## ◎ 周辺環境モニタリング及び排出源モニタリングの結果について



平成24年度に実施した施設周辺の大気中のPCB、ダイオキシン類については、外部の計量証明事業所による分析を行い、事業所敷地内と周辺（南側）の2箇所で、年4回全ての測定値が環境基準値等を満足しました。

| 項目(単位)<br>環境基準等 | PCB ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ) |         | ダイオキシン類 ( $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ) |        |
|-----------------|----------------------------------|---------|--|--------|
|                 | 0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$     |         | 0.6 $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$         |        |
| 場 所             | 敷地内                              | 周 辺     | 敷地内                                    | 周 辺    |
| 春               | 0.00040                          | 0.00023 | 0.026                                  | 0.025  |
| 夏               | 0.00063                          | 0.00027 | 0.0096                                 | 0.0084 |
| 秋               | 0.00047                          | 0.00038 | 0.044                                  | 0.044  |
| 冬               | 0.00027                          | 0.00022 | 0.047                                  | 0.044  |

また、平成24年12月に実施した施設からの排気中のPCB、ダイオキシン類等については、外部の計量証明事業所による分析を行い、21箇所の測定場所全ての測定値が自主管理目標値等を満足しました。

## ◎ 運転廃棄物の外部委託処理の開始について

PCB廃棄物（トランス、コンデンサ等）を処理する過程で発生する運転廃棄物（換排気用活性炭、保護具・シート類、廃アルカリ等）のうち、産業廃棄物として処理委託が出来ないものについては、ドラム缶に密封し保管しています。

今回、保管しているドラム缶の中でPCB濃度が5,000mg/kg以下のものについては無害化認定施設で処理ができることとなり、3月から、施設の配管等の洗浄に使用した廃アルカリの処理委託を開始しました。

## ◎ 施設見学の状況について

当施設への見学者は操業開始以降、平成25年3月31日現在で8,819名（1,177団体）となっています。平成25年1月から3月の見学者数は、企業・自治体の方々等45名（13団体）でした。

### ☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど  
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

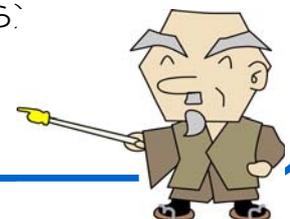
【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所  
TEL：06-6468-0575  
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp



洲男（しまお）



舞子（まいこ）



【発行】 日本環境安全事業株式会社 大阪事業所  
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575 べん蔵（べんぞう）  
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575